

主婦連合会社会部 100人アンケート 第10回「LED電球」

実施期間 2012年6月25日～2012年7月5日

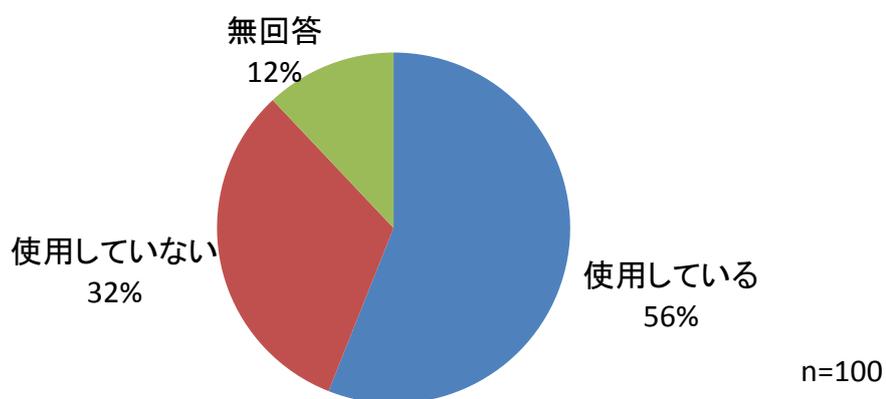
配布数 100

回答数 88

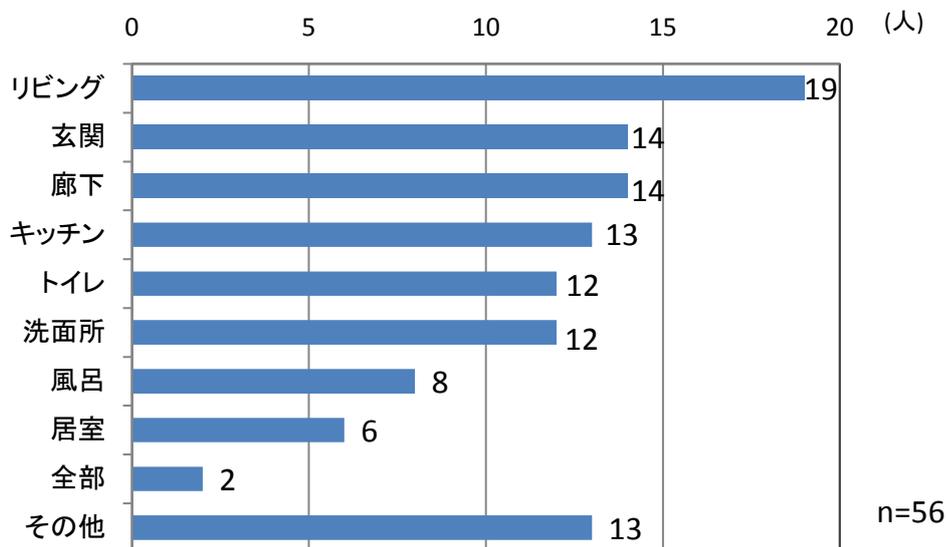
回答率 88.0%

LED照明とは、発光ダイオード(LED)を使用した照明器具のことです。

Q1. あなたのご家庭では、LED照明を使用していますか？(回答は一つ)



Sq1. 使用していると回答した方へ
どこに使用していますか？

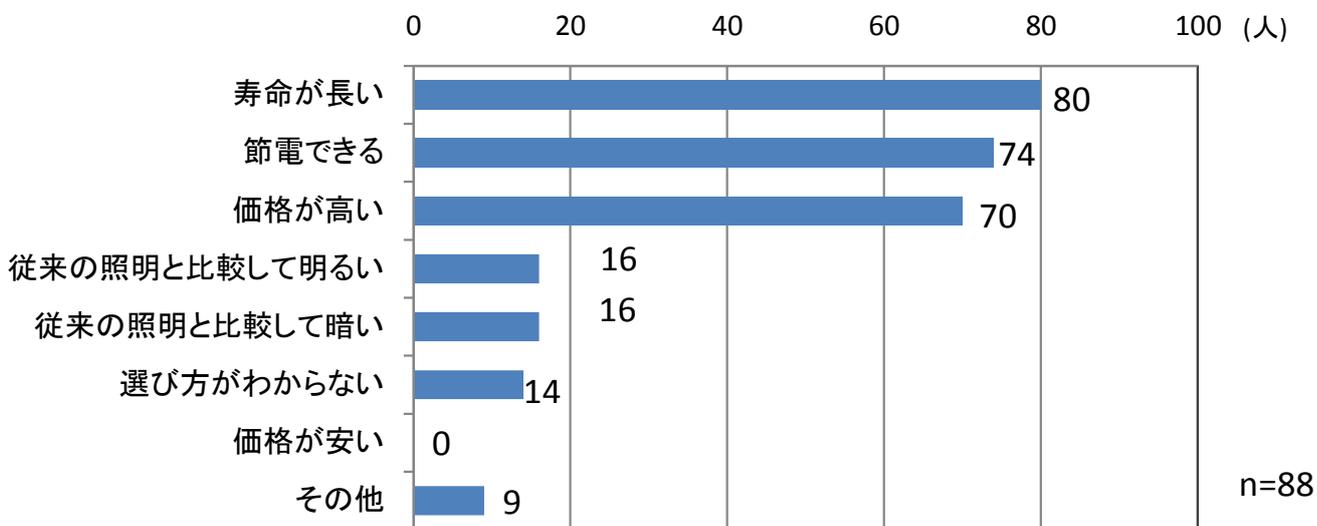


【その他回答より】

デスクスタンド、庭外灯、非常灯、階段、懐中電灯 など



Q2.LED 照明についてどう思いますか？(複数回答可)

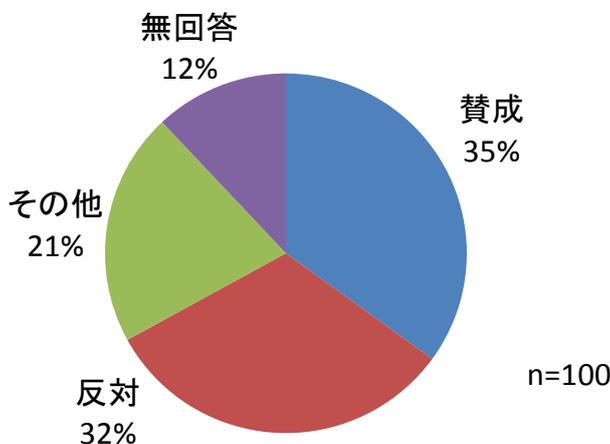


【その他回答より】

- ・熱い。想像以上に熱を発している。
- ・光の色が今までと違い、なれない。蛍光灯のようにつくまでに時間がかかる。
- ・密閉型の照明に取り付けられるものが少ない。
- ・光の広がりが狭い。
- ・10年経過後火災発生危険の指摘も散見。 など

Q3.経済産業省と環境省は 6 月 13 日、白熱電球の製造・販売の自粛を家電メーカーや家電量販店などに要請しました。電力不足や地球温暖化対策をにらみ、節電効果の高い LED 電球への切り替えを後押しすることが狙いです。しかし、価格差が大きいと、何らかの支援が必要との声もあります。

白熱電球の製造・販売の自粛要請について、どう思いますか？(回答は一つ)



【その他回答より】

- 今までの電球との価格差に対して何らかの支援や対策があるなら賛成。
- 最終的には、白熱電球の使用はなくすべきと思うが、開発途上なので、時期尚早ではないか。
- どちらでも消費者が選択できるようにした方が良い。
- メーカーと消費者が決める事で政府が口を出す事ではないと思う。価格差に対しての支援などもってのほか。税金のむだ使いとなるのでやめてほしい。
- 自粛要請は良いが製造は、してほしい。
- 節電の面から、LED 電灯に変えていく意義は大きいですが、経済的負担や個人的な好みもあるので、白熱電球の製造・販売の自粛は行きすぎではないかと思われる。

【まとめ】

LED 照明は、56%と半数以上が使用していると回答しています。そして、リビング・玄関・廊下・キッチン・など、様々な場所で使用されています。LED 照明について「寿命が長い」(80人)、「節電できる」(74人)と良いイメージを感じている人も多いですが、「価格が高い」という声も70人と多く寄せられています。また、「選び方がわからない」という指摘もあり、使用する場所によってどの規格の製品を選べば良いのか、わかりにくいことは問題です。

白熱電球の製造・販売の自粛については、節電や地球環境温暖化対策の必要性から、35%が賛成と回答していますが、「価格に対して支援が必要」「白熱電球の明かりが好きなので製造は続けて欲しい」と3割以上が反対と回答しており、慎重な対応が望まれます。

LED 照明には、長寿命性・低消費電力・小型化が可能・指向性(所定角度の範囲で発光)などの特長があります。反面、高輝度化に伴う人体への影響、ノイズによる電波障害など、課題も多いのが現状です。LED 照明はまだ性能を定めた規格や基準が決まっていません(2012年10月現在)。白熱電球からの切り替えを進めるのであれば、価格の問題だけではなく、規格を決め、消費者が安全・安心に選べるようにすることが必要です。

※LED 電球についてご意見から

- 製造、販売自粛は行きすぎのような気がします。消費者の選ぶ自由があっても良い気がします。アンティークなものが使えなくなったり、今まででよかったものが不要になってかえって無駄になると思います。
- LED の青色発光が目が悪いようだという記事を読みました。価格が高く、体への影響も分からないまま一本に絞ってしまうのは時期早々と思います。是非主婦連でも取り上げて頂きたいと思います。
- 「高価格であるが節電効果が高く寿命が長い」LED 照明は優れた製品だと思います。しかし、住まい方(賃貸)や高齢者住宅にとって、「10年は使える」と言われても高価格なので買う気にはならないと思います。国のこのような規制には、一部企業への支援が垣間見



えて国民は賛同しないと思います。消費者の選択の自由を奪うことになるのではないでしょう。節電は国民が自ずからやる気になるもので、市場規制は問題だと思いません。

- 電球タイプの LED は、メーカーによって価格の差が激しいが、なぜなのだろうか。安価な方がよいとは思いますが、あまりに安いと粗悪品ではないかとためらってしまう。
- 省エネの為なら、IHコンロ製造・販売の自粛が先。中部・四国電力はLPGをターゲットに今でもオール電化の攻勢をかけている。マッチ・ポンプのような電力業界の姿勢に、日本人として羞恥を感じる。白熱灯の明かりを含む様々な照明は芸術でも豊かな生活文化でもあり、日々には不可欠です。経産省をはじめ国の政策には、景気浮揚、バブル期待が多すぎ。電気の2000年問題の時には、もっと真摯な対策を官民挙げて取組んだことを思い出して欲しい。場当たり過ぎ。
- LED照明は実はあまり好きではありません。最初デコレーションなどに使用される青い光には自分のエネルギーを吸い取られるような不快感を持ったことがあります。白熱球は目に無理がなく明かりのもつ温かみや、やすらぎがあり、できるだけ室内はその明かりを使いたいと思っています。LEDの節電効果は認めます。でも、おびただしい自販機やテレビ放映時間の抑制、不必要に長いスーパーの営業時間やばかばかしい街頭巨大テレビ広告などを自粛することでいくらかでも節電になります。人間の活動時間そのものを考え直す時期ではないでしょうか。人間の五感が必要と感じる柔らかな白熱球を政府がそこまで目の敵にする必要があるでしょうか。子供の感性にも影響があるでしょう。さらに私の好きなクラシックホテルの(日光金谷・宮ノ下富士屋・軽井沢万平ほか)照明などは白熱球でなければ成り立ちません。
- 長時間点灯する場所(リビング、マンション共用部など)には LED が適していると思うが、短時間の点灯場所(トイレなど)ではLEDに換えても節電効果は低い。従来どおり白熱電球の供給も続けるべきだと思う。
- 使っていると異常と感じるほどソケットが熱くなっています(白熱球と同じぐらい。蛍光灯電球よりはずっと熱い)。これでほんとうに消費電力が少なくなっているのか疑問です。急に多品種が販売され、「LED とはどのようなものか」という知識のないままに私たち消費者は購入するようになっており、もっと基礎的な知識が必要だと思います。
- 地球に優しいという点で LED 照明にしたほうがよいとは思いますが、ただ、まだ実際に使用していないため、よくわかりません。白熱電球の明るさが好きなので、同じ明るさがあればいいと思います。あと、価格が高いのかなというイメージがあります。

